

調査成果報告書

広島県臨海部の魅力向上創出に係る基盤整備調査			
調査主体	広島県		
対象地域	広島県廿日市市、広島市、呉市、江田島市、東広島市、竹原市、三原市、尾道市、福山市	対象となる基盤整備分野	港湾

掲載

1. 調査の背景と目的

広島県では、瀬戸内海に点在する地域資源を磨き上げ、相互に連携させて瀬戸内海全体の魅力アップを図り、世界中の方々に瀬戸内海に何度も訪れていただくことにより、観光産業をはじめとする地域産業の活性化を図ることを狙いとした「瀬戸内海の道構想」を策定したところである。

この構想において、戦略テーマの1つとして「船と航路とみなと賑わい」を位置づけており、瀬戸内ブランドのシンボル商品として、クルーズやボートなどによる多島美を生かす船旅と上陸ポイント（寄港地）の賑わいづくりを進め、発信していくこととしている。

【広島港及び厳島港の効率的な機能の検討】

広島港宇品地区では、旅客ターミナルに隣接して物産館が開業するとともに、近接する緑地にはカキ小屋が出店し、賑わいづくりが進められつつあるが、それぞれの施設を結ぶ導線が脆弱であり一体的な利用がされていない。導線を強化することによる各施設の相乗効果により、さらなる賑わいの創出が期待できる。

このことから、旅客ターミナルと周辺施設等を結ぶ導線を強化するための施設を整備するため、利用者のニーズや必要な機能を調査し、賑わいの創出に効果的な導線の検討および案内サインの検討を行う。

厳島港胡町地区では、世界遺産宮島の玄関口として年間300万人以上に利用されており、広島港宇品地区等からのクルーズ船の寄港地となっているが、クルーズ船用棧橋からターミナルへの通路が整備されておらず快適に利用することができない。

旅客ターミナルと周辺施設等を結ぶ導線を強化するための施設を整備するため、利用者のニーズや必要な機能を調査し、賑わいの創出に効果的な導線の検討および案内サインの検討を行う。

対岸の厳島港宮島口地区においては、クルージング参加者の参集場所や待合スペースが確保されていない。胡町地区においては棧橋とターミナルを結ぶ通路を整備するとともに、宮島口地区においては、待合スペース等を備えたターミナルを整備し、世界遺産厳島の玄関口に相応しい施設とすることにより、一層の観光振興が期待できる。厳島港宮島口地区においては、旅客ターミナルに必要な機能や規模等の検討を行う。

【既存棧橋の機能強化（クルージング）】

また、瀬戸内海臨海部の魅力向上を図るため、クルージング寄港地として需要の高いエリア等において、既存棧橋のクルージング利用のための調査・検討を実施し、観光交流を通じて、官民連携による広域的な地域活性化に資することを目的とする。



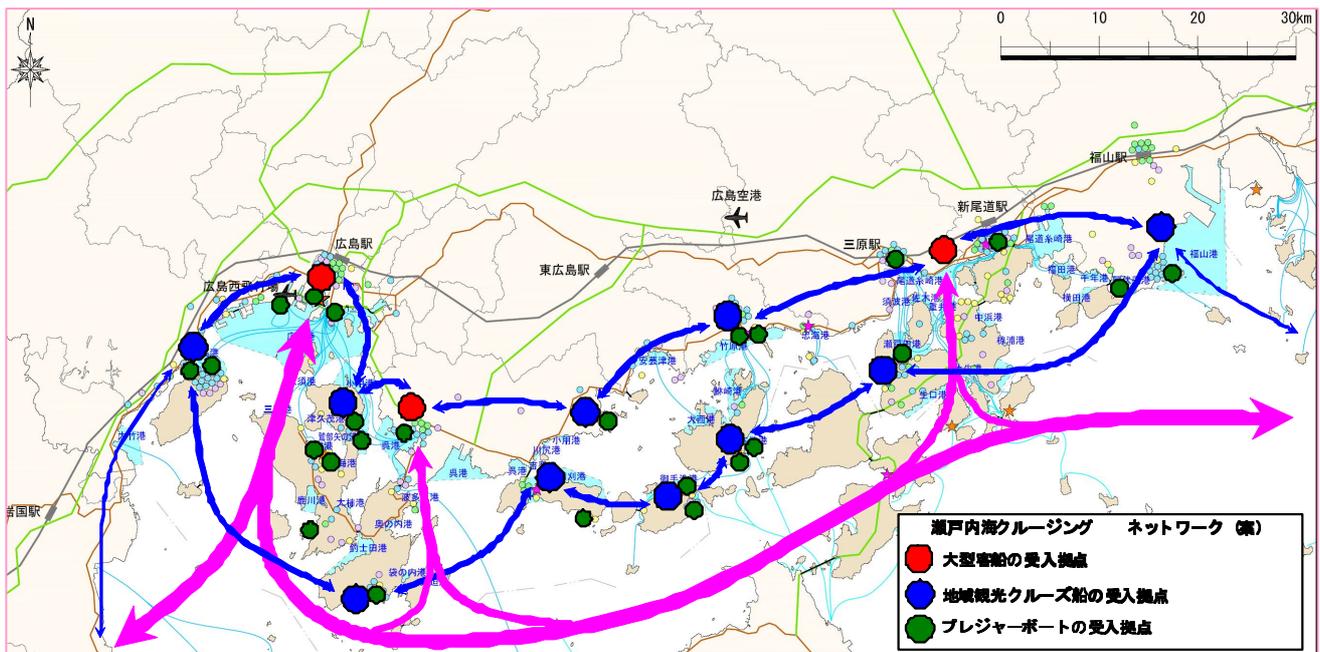
瀬戸内の多島美

瀬戸内 海の道 構想

瀬戸内海には、温暖な気候や多島美だけでなく、多彩な地域資源があります。
 二つの世界遺産、カキや小魚などの海産物、柑橘などの農産物、
 北前船や朝鮮通信使が往来した港町に今も残る文化財や伝統行事など、挙げればきりがありません。
 瀬戸内海に点在する地域資源を磨き上げ、
 相互に連携させて、エリア全体の魅力アップに取り組みます。
 瀬戸内海の魅力が世界中の人々を惹きつけ、
 観光産業をはじめとする地域産業の活性化につなげていきたいと考えております。
 そして・・・

一度は訪れてみたい。
 さらに二度、三度と訪れたいくなる・・・
 そのような瀬戸内海空間の創出を目指します。

瀬戸内 海の道構想 (広島県ホームページ)



瀬戸内海クルージングネットワーク

2. 調査内容

(1) 調査の概要と手順

【広島港及び厳島港の効率的な機能の検討】

○広島港宇品地区

旅客ターミナルと周辺施設等を結ぶ導線を強化するための施設を整備するため、利用者のニーズや必要な機能を調査し、賑わいの創出に効果的な導線の検討および案内サインの配置検討を行うものである。



①利用者ニーズの把握

ターミナル関係者等へのヒアリングを実施するとともに、公園利用者へのヒアリング調査を行った。

利用者ヒアリング調査場所

	宇品波止場公園	広島みなと公園
		

②案内サインの配置検討

利用者ニーズ等を踏まえ、案内サインの配置検討を行った。

○巖島港胡町地区

巖島港胡町地区において、旅客がターミナルから浮棧橋の区間を円滑に移動できるよう、サイン計画の配置を検討するとともに、通路狭隘部の拡幅等を検討するものである。

①検討条件の設定

胡地区発着航路数・船舶数、乗降人員数等の統計を整理し、条件の設定を行った。

②現地調査

胡地区の現状の施設配置、旅客・車両の動線等を確認するため、現地調査を実施する。又電光掲示板設置及び通路拡幅検討のための既設の構造物の調査を実施した。

③関係者ヒアリング

現状の問題点を確認するため、航路事業者及び港湾管理者への聞き取りを行った。

④先進事例調査

電光掲示システムを導入している港湾において、導入している施設、運営方法、整備及び保守管理費等の調査を実施する。調査港湾としては乗降客数が多く、複数の定期航路を有する港湾とし、調査を行った。

⑤サイン及び通路拡幅計画検討

現地調査、関係者ヒアリングの結果を踏まえ、旅客の動線を検討し、案内板及び電光掲示板の配置を含めたサイン計画を作成するとともに、通路狭隘部を拡幅するための構造について検討した。



○ 厳島港宮島口地区

地方港湾厳島港宮島口地区において新たに整備する旅客ターミナルの機能等に係る課題について整理し、その課題解決の方向性について検討するとともに、ターミナルへのアクセスの検討を行うものである。



① 旅客ターミナル事例の収集・整理

新たに整備する旅客ターミナルの参考とするため、国内観光地等における旅客ターミナルの事例を収集し、その機能・規模等を整理・分析した。

② 上位関連計画の把握・整理

宮島口地区の将来の開発等に関する広島県及び廿日市市の上位関連計画に係る動向やその背景・経緯を把握するとともに、今後の検討を進める上での前提条件や整合を図るべき事項等を抽出・整理した。

③ 現ターミナルの現状把握

旅客船事業者に対してヒアリング調査を実施し、宮島口地区に立地している旅客ターミナルの現況を把握した。

④ ニーズ調査

旅客ターミナルの利用者（観光客、生活利用者）や周辺商店会等に対するヒアリング及びアンケート調査を実施し、宮島口地区の旅客ターミナルに対するニーズを把握した。

⑤ 検討課題の抽出

旅客船事業者側の現状、上位関連計画における位置づけ、地元自治体の意向等を踏まえ、宮島口地区における旅客ターミナルの新規整備に伴う問題点や検討課題を民間事業者と行政の立場を区分しながら抽出した。

⑥ 新旅客ターミナルの導入機能の検討

宮島口地区に新たに整備する旅客ターミナルの導入機能について検討した。

⑦ 新旅客ターミナルへのアクセス検討

新旅客ターミナルへの車両動線計画等について検討を行った。

【既存棧橋の機能強化（クルージング）】

広島県が策定した「クルージングビジネス振興の方向性（平成 24 年 7 月）」に基づく取り組みにおいて、今後の既存棧橋の機能強化に必要となる以下の調査・検討を実施するものである。

- ① ボートショー会場アンケート調査（横浜）
- ② 瀬戸内海ビジター棧橋調査
- ③ ビジターバース利用実態調査・検討

(2) 調査結果

【広島港及び厳島港の効率的な機能の検討】

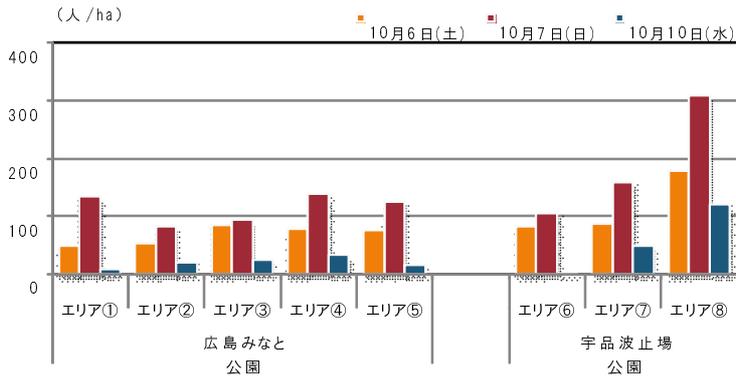
○広島港宇品地区

①ターミナル関係者ヒアリング結果

- ・ターミナル周辺のアクセス整備（通路等）
- ・誘導・案内看板の設置
- ・レンタサイクルポート，無料駐車場の整備 等

②公園利用者実態及びヒアリング調査結果

(利用実態調査結果)

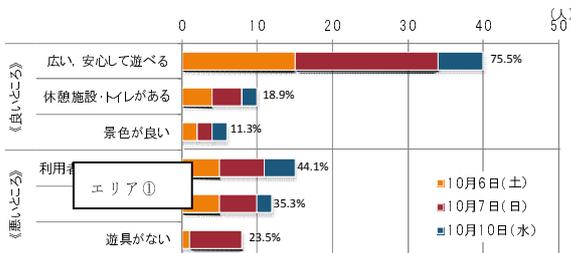


1日当たりのエリア別公園の1日当たりの利用実態

▲写真 宇品波止場公園 (10月7日)

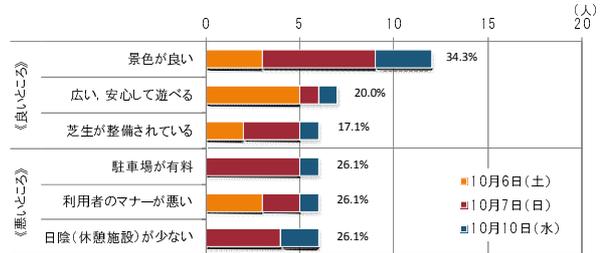
(利用者ヒアリング結果)

《広島みなと公園》



※図中の数値は、有効回答数に対する割合を表す。

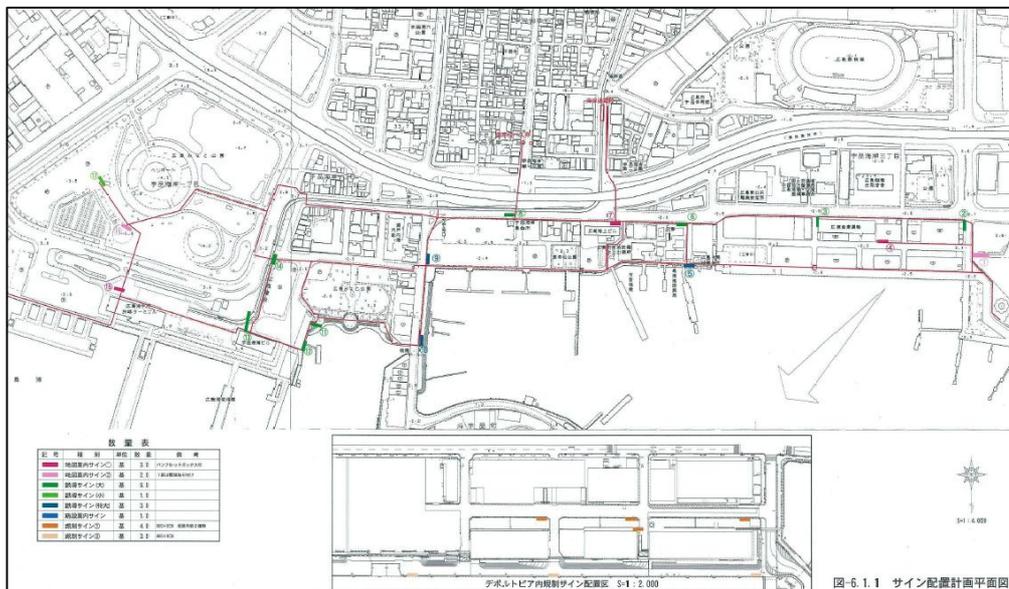
《宇品波止場公園》



※図中の数値は、有効回答数に対する割合を表す。

各公園に対する来訪者の意識 (上位3位までの意見)

③サイン配置検討



○ 厳島港胡町地区

①関係者ヒアリング（抜粋）

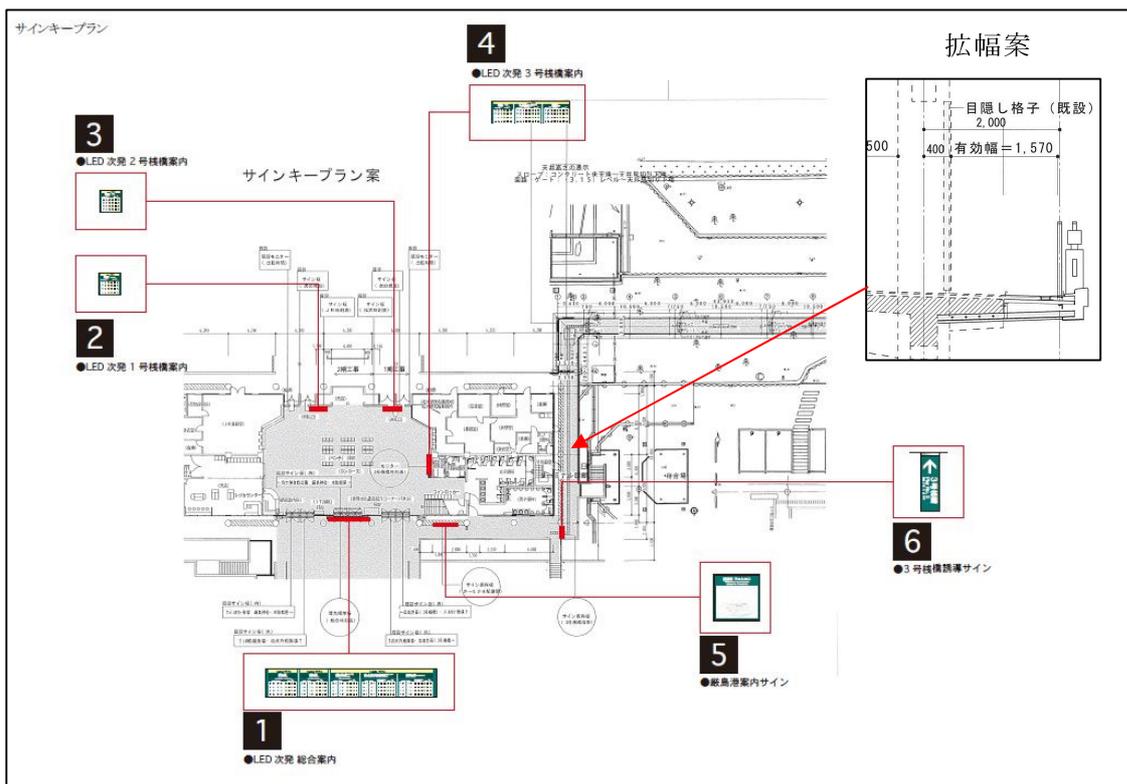
- ・ 3号棧橋へのルートがわかる表示が必要。
- ・ 本館側で券売をしていないので、買う場所がわからない。
- ・ 切符をどこで購入すればよいかわかりにくい。
- ・ 3号棧橋の乗り場、券売はどこか尋ねる客が多い。
- ・ 総合版と改札口付近に電光掲示板が必要である。
- ・ 3号棧橋の乗船客はターミナル内で教えてもらってきたというケースが多い。
- ・ 帰りは直接船で広島方面に行くケースのとき、帰りの乗り場がわかりにくい。
- ・ 電光掲示板で3号棧橋乗り場が認識しやすければ利用しやすくなる。
- ・ 案内板の景観規制について統一を期待する。

②先進事例調査（抜粋）



③サイン及び通路拡幅計画検討

関係者ヒアリングや先進事例調査等を踏まえ、サイン及び通路拡幅検討を行った。



○ 厳島港宮島口地区

ニーズ調査等を踏まえ、旅客ターミナルの導入機能を検討した。

基本機能（案）一覧表

機 能		内 容
旅客待合室		フェリー運航までの待ち時間待機するスペース。 椅子に座っての待合の他、ピーク時の滞留スペースや、修学旅行客等の団体待機スペースとして空間の確保を行う。
チケットカウンター		券売窓口、自動券売機設置スペースとして整備する。 自動券売機用メンテナンススペース、券売事務スペースを含むスペースとする。
W C	W C	公衆WCとして、男女別に整備する。
	多目的WC	車いすが利用できる広さや手すり、手洗いに加え、おむつ替えシート、ベビーチェア、オストメイトを備えたWCを整備する。
船会社 事務所	事務室	事務スペースとして整備する。
	役員室	役員室として整備。
	休憩室 仮眠室 (男女別)	船員、事務職員、改札誘導員、券売窓口要員用の休憩室、仮眠室等として整備する。
	職員用WC	船員、事務職員、改札誘導員、券売窓口要員用のWCとして、男女別で整備する。
	ロッカー室	船員、事務職員、改札誘導員用のロッカーを設置する。
	湯沸室	湯沸スペース、休憩、食堂用スペースとして整備する。
	倉庫	書類、備品の保管用として整備する。
	油庫	オイル、ペイント用のドラム缶を保管する。 フェリーと連絡が必要なため、直接外部から出入りする設えとする。

その他付加機能（案）

- ・ 観光情報センター
- ・ 観光物産館
- ・ コインロッカースペース
- ・ 自動販売機・AMスペース
- ・ 授乳室
- ・ 物販 等

【既存棧橋の機能強化（クルージング）】

① ボートショー会場アンケート調査（横浜）

「ジャパンインターナショナルボートショー2013（横浜）」の来場者を対象に、広島県内のデジタル棧橋の利用状況、クルージング等に関する情報入手状況、瀬戸内のクルージングニーズなどについて調査。

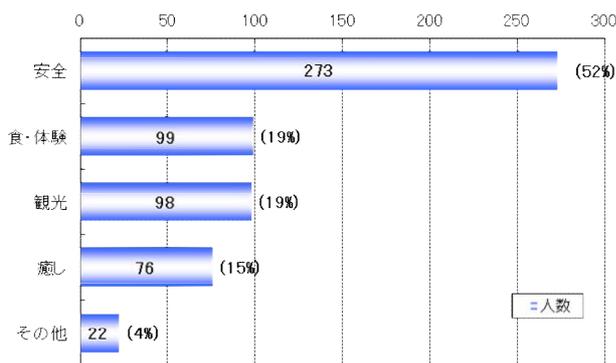
会期：平成 25 年 3 月 7 日（木）から 10 日（日）までの 4 日間

会場：パシフィコ横浜（屋内展示、横浜市西区）

横浜ベイサイドマリーナ（フローティング展示、横浜市金沢区）

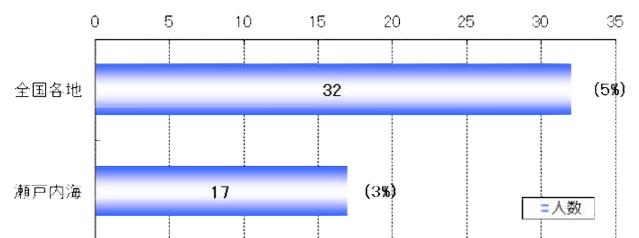


○ビジターバス利用の必要条件

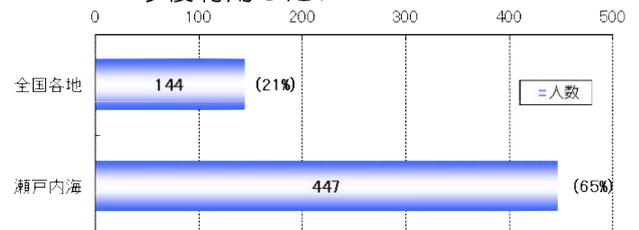


○チャーター・レンタルボートクルーズ

利用したことがある

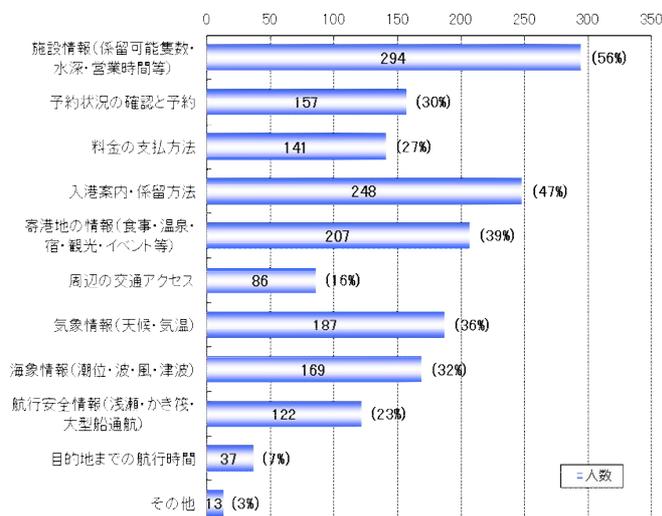


今後利用したい

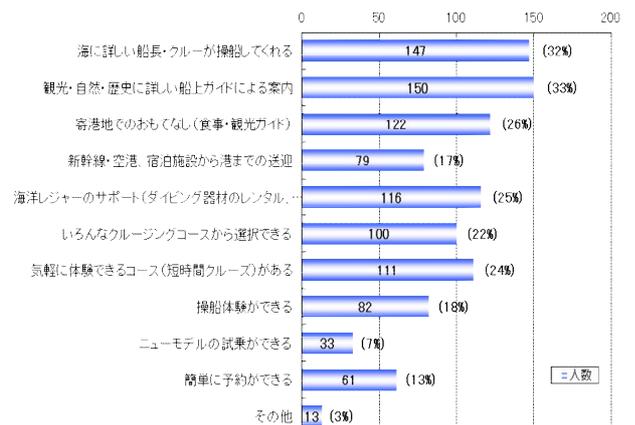


○クルージングポータルサイト

どのような情報が確認できたら良いか



利用する際の必要なサービス



②瀬戸内海ビジター棧橋調査

瀬戸内海のビジター棧橋管理者から、次の調査範囲及び調査内容の資料を収集・整理。

- 棧橋諸元（延長、バース数、水深等） ○サービス内容（係留料金、給油、給水、給電等）
- 背後地の役場・警察署・消防署・病院等の周辺情報 ○観光資源情報
- 防災関連施設情報 ○現況写真等

③ビジターバース利用実態調査・検討

おのみち海の駅における調査結果（平成24年9月～平成25年1月中旬までの5ヶ月間、30艇前後）の分析。

- 瀬戸内海のセンターに位置し、観光地としての尾道、天然の良港としての港町（台風、荒天時に南北は山に囲まれ、東西は真っ直ぐ見えるが実は少し蛇行して風通りはあまりない）
- リピーターが多く（80%）、関西地区のクルージングとしては外せない停泊地

3. 基盤整備による効果

調査結果に基づき、広島港及び厳島港の導線機能を強化するとともに、クルージング促進のために必要なビジター棧橋の機能強化を図ることにより、瀬戸内海のさらなる魅力向上創出が期待でき、国内外からの観光客誘致による産業の活性化と交流人口の増加により、豊かな地域社会を実現する。

4. 今後の課題

今後、より一層の臨海部の魅力向上を図るためには、官民が連携して、臨海部の賑わいづくりの創出を図るとともに、クルーズ事業を地域ビジネスに育てる基盤づくりが求められる。